

土器含浸強化用樹脂 『アルタインD』

〔特長〕

- ①脆弱な土器や土器片などの強化ができます。
- ②希釈せずにそのまま使用するので、取り扱いが従来製品よりも容易です。

〔対象〕

脆弱になった土器片を強化します。復元後の土器・埴輪の強化にも用いることができます。

〔樹脂の成分〕

主成分：アクリル酸エステル共重合体【アクリル樹脂】
(非ホルムアルデヒド及び非ノニルフェノール型)

〔使用方法〕

- ①希釈せず、原液を標準溶液として使用してください。
- ②対象により、直接噴霧することができます。劣化の状態（焼成温度等）に依って、浸漬させたり、筆などを用いて塗布することもできます。対象はよく洗浄し、完全に乾燥させた状態で作業を行ってください。完全に乾燥していない場合、表面に形成された皮膜が白濁するなど、効果を損ねる原因となるおそれがあります。
- ③溶液に浸すときは、本体から気泡が出なくなるまで静置します。焼成温度や状態の違いが原因で、表面の剥離やヒビが広がるおそれがあります。よく観察しながら処理を進めてください。
- ④含浸終了後、溶液から取り出して余分な樹脂をキッチンペーパーなどで軽く押さえて吸い取り、光沢が出ないようにします。（毛羽立った布やタオルで拭き取ると、繊維や糸くずが付着してしまい、除去が困難です。キッチンペーパーの使用をお勧めします。）
- ⑤風通しのよい直射日光の当たらない場所で自然乾燥させます*²。編籠等に付着しないよう、表面がある程度乾くまで2～3回裏返してください。（新聞紙や紙等は付着し易いので、使用しないでください）
- ⑥十分に乾燥させた後、強度が足りないと感じられたら再度作業を繰り返してください。

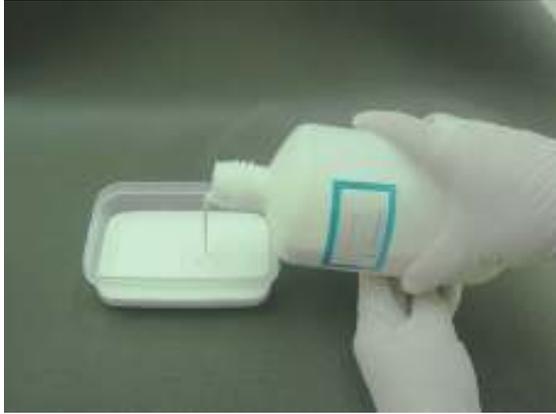
〔注意事項〕

- ①使用時には必ず換気を行ってください。
- ②使用時には必ず手袋を着用してください。
- ③使用後は必ず蓋をして密閉してください
- ④当製品の使用により発疹等の過敏症状が現れたときは、すみやかに使用を中止し、医師の診断を受けてください。
- ⑤目に入った場合はすぐに水で洗い流し、異常がある場合は眼科医の診断を受けてください。

「アルタイン D」 土器への使用例

① 含浸・塗布・噴霧

(A) 液へ漬ける場合



容器へ樹脂を準備



土器を漬けます

(B) 塗布する場合



筆で直接塗布します



刷毛で塗布します

(C) 噴霧する場合



アルタイン D を噴霧用容器へ準備



対象へ噴霧

② 拭き取り～乾燥



余分な樹脂を拭き取ります



乾燥